

地震最適化構文

【宣言】

地球にとって地震は、通常に発生する現象の一つである。
地下エネルギーを発散し、地球を最適な状態に保つためである。
地下エネルギーのひずみを更正するために不可欠な現象である。
同時に人類にとっては、その影響が生命や生活の維持に大きな影響を及ぼす。
人類は、地震と最適に向きあい、地震を地球の維持に**必要不可欠と認識し**、その上で地震被害を最適に乗り越えることを宣言する。

【定義】

地震学における定義: 地球表面を構成している岩盤（地殻）の内部で、固く密着している岩石同士が、断層と呼ばれる破壊面を境目にして、急激にずれ動くこと。
これによって大きな地面の振動が生じこれを地震動（じしんどう）という。
大地のゆれ: 地震動のことで一般的にはこちらも「地震」と呼ばれる。
「地震」（なみふる）という語句は『日本書紀』にも見え、その他古文書の記録にも登場するが、これらは今日の地震学における地震動のことであり、また「大地震」、「小地震」などと共に震度の程度を表すものでもあった。

（地震のメカニズム）

1. 地震をプレートテクトニクスの観点から分類することができ、大きく分けて2通りの分け方がある。
2. 複数のプレートの中で起こるもの（プレート間地震、プレート境界地震）
 - ・収束型境界（メガスラスト）で起こるもの
 - ・海溝などの沈み込み帯で起こるもの（海溝型地震、海溝沿いのプレート間地震）
 - ・衝突型境界で起こるもの
 - ・発散型境界で起こるもの
 - ・海嶺で起こるもの（海嶺型地震）
 - ・トランスフォーム断層で起こるもの（トランスフォーム型地震）
3. プレート内部で起こるもの（プレート内地震）
 - ・大陸プレート内部で起こるもの（大陸プレート内地震、内陸地殻内地震、陸域の浅い地震、内陸型地震、断層型地震、直下型地震）
 - ・海洋プレート内部で起こるもの（海洋プレート内地震）
 - プレートの下に沈み込む手前の海洋プレートで起こるもの（沈み込む海洋プレート内地震、アウターライズ地震）
 - プレートの下に沈み込んだ後の海洋プレートで起こるもの（沈み込んだ海洋プレート内地震、スラブ内地震）
4. 上の分類とは別に、火山体周辺で起こるもの（火山性地震）を特別に分ける場合がある。
マグマや火山ガスの移動が地震を起こすほか、周囲よりも地殻が破碎されて弱いために応力が集中して地震が起こるなど、いくつかのメカニズムが知られている。
また、人工的な発破の振動などにより発生する人工地震も存在する。
これに対して、自然に発生する地震を自然地震と呼ぶことがある。

なお、ダムなど人工的な要因により引き起こされる自然地震もあり、誘発地震と呼ぶ場合がある。

防災上の観点では、これらとは別に直下型地震（内陸地震）という分類を用いることがある。

居住地域の直下で起こる浅発地震を指し、地域によってはプレート内地震だけではなくプレート間地震も起こる。南関東直下地震などの、都市で発生する直下型地震はリスクが大きいことから重要視されている。

また、地震動が小さい割に大きな津波が起こる地震を津波地震という。

地震に関連するものとして、振動を起こさないスリップあるいは滑りと呼ばれる現象がある。全く振動を伴わないものもあれば、付随して弱い低周波の振動を伴う低周波地震や低周波微動などがあることが知られている。

（地震による最適化）

地球は、宇宙の運行に沿って地球そのものに最適な変動を繰り返す。

地球は、外部からのエネルギーを受けて最適に変化する。

地球は、内在するエネルギーに沿って最適に変化する。

地球は、内在するストレスを最適に溜める。

地球は、内在するストレスを最適に放出する。

地球は、そのエネルギー、ストレスの発散、調整に地震を利用する。

（地震による被害）

地震の被害には、以下のものがある。

山崩れ、崖崩れ、地割れ、液状化現象、建造物の損傷や崩壊と火災、津波

そして、地震そのものからまたはこれらの地震の被害から引き起こされる人的被害、動物被害、自然破壊、環境破壊などがある。

【実行文】

（地震の祓い）

人類や動物は、地震から受けた悲しみ、恨み、悔しさ、怒り、など様々な感情、思い、念、波動を生んできた。

人類は、鬱滞したこれらの感情、思い、念、波動などを地球から吹き送った。

人類は、地球を最適に鎮魂した。

人類は、地球をお慰めした。

人類は、地球と一体化した。

（プレート最適化）

人類は、地震の原因を解消するよう以下のように願った。

複数のプレートの間での沈み込み現象が最適化された。

複数のプレートの間での衝突現象が最適化された。

複数のプレートの間での発散現象が最適化された。

プレート内でのひずみなどの現象を最適化した。

マグマの過大な溜り、ガスの移動など火山周辺の状態が最適化された。

人工的な要因による地震発生を最適化した。

(地震対策)

人類は、地震のメカニズムを最適に理解した。
人類は、地震の大切さを最適に知った。
人類は、地震のサインを最適に感知した。
人類は、地震の発生法則を最適に把握した。
人類は、地震の発生を的確に掴んだ。

人類は、地震発生の予知システムを最適に構築した。
人類は、地震の発生地域、発生時間、規模を最適に掴んだ。
人類は、地震の影響を最適に掴んだ。

人類は、地震の対応手順を最適に構築した。
人類は、地震の対応システムを最適に構築した。
人類は、地震の発生に最適に対応した。

(安全対策)

人類は、原子力発電施設、発電施設、貯水施設、ガス施設、揮発油施設、交通施設、通信施設などライフラインに最適な安全対策を施した。

(地震と向き合う)

人類は、地震の脅威を認めた。
人類は、地震の脅威を吹き送った。
人類は、地震の脅威と最適に向き合った。

人類は、地震の恐怖を認めた。
人類は、地震の恐怖を吹き送った。
人類は、地震にパニックにならなかった。
人類は、地震に冷静に向き合った。

人類は、地震の発生有無関わらず最適な生活を営んだ。
人類は、地震の発生有無関わらず常に最適な情緒で暮らした。
人類は、地震を最適に受け止めた。

【公】

人類は、意識進化した。
人類は、地球市民として共存共栄した。
人類は、公に尽くした。